巻頭言

第78回 通常総会　藏内会長挨拶

公益社団法人　日本獣医師会
会　長　藏　内　勇　夫

公益社団法人日本獣医師会第78回通常総会の開催にあたり，全国の地方獣医師会の代表者の皆様方には，コロナ禍の中，ご来場，またはWebでのご出席を賜り，誠にありがとうございます．

冒頭ではございますが，これまで長年にわたり本会が大変お世話になってまいりました自由民主党獣医師問題議員連盟元会長の谷津義男元農林水産大臣がこのたびご逝去されました．大変温かくご指導をいただきましたことに，この場をお借りして改めてお礼申し上げますとともに,心からのご冥福をお祈り申し上げます．

新型コロナウイルス感染症という未曾有の災厄に見舞われる中，皆様には大変なご苦労をされておられることと存じます．新型コロナウイルス感染症は4月以降の第4波により，全国各地に緊急事態宣言，まん延防止等重点措置が発令されました．現在はその一部が解除され，オリンピック・パラリンビックの開催に向けて準備が進められています．どのような形でオリンピック・パラリンピックが開催できるのかと，不安と同時に大いに期待もしているところです．

国内感染の再拡大が不安視される中，感染防止の切り札と期待されるワクチン接種も各地で進んでいると伺っております．私も先頃2回目の接種を終えました．先に経験された方から，2回目は1回目より副反応が強いとお伺いしておりましたが，私も腕の痛みと倦怠感が強かった一方，ワクチン接種を終えた安堵感を覚えました．引き続きコロナ対策には気を緩めることなく取り組んでいかなければならないと考えており，全国でのワクチン接種が順調に進み，本病の1日も早い収束を切に願う次第です．

このような状況の中，この度の第78回通常総会も，感染予防を第一に考え，Web併用による開催とさせていただきました．また，例年来賓としてのご臨席をご案内申し上げている関係省庁，国会議員，団体等の方々，賛助会員の皆様方におかれましては，今回はご来場のお願いを遠慮させていただきました．

皆様方の日本獣医師会に対するご厚情に，この場をお借りして重ねて厚くお礼を申し上げます．誠にありがとうございます．

さて，私は四期目の会長任期を終了いたしますが，この間，地方獣医師会の皆様並びに本会の役職員の皆様の支援をいただきながら様々な課題に取り組んでまいりました．

特に，ワンヘルスの推進につきましては，本会の最優先課題として，日本医師会との連携を一層強化し，農林水産省，環境省，厚生労働省をはじめ関係省庁のご指導とご協力を賜りながら，連携シンポジウムを開催する等，関係者間の情報共有に努めてまいりました．また，全国の地方獣医師会におきましても，地域の医師会と連携協定を締結し，様々な連携活動を実施していただいたことに対し心から感謝申し上げます．

この度の新型コロナウイルス感染症も，動物由来の人と動物の共通感染症と言われており，その対策を講じる上で，人と動物の健康及び環境保全を一体的に推進するワンヘルスの実践が関係者の間で注目されています．

先般行われましたG7気候・環境大臣会合でも，ワンヘルスの概念をしっかり共有することが相互に確認されたところです．私は，今後もワンヘルスの実践に関する活動をライフワークとして，その普及に努めてまいる所存です．

また，福岡県におきましては，福岡県ワンヘルス推進基本条例が本年１月５日に公布・施行されました．この中で，福岡県に関係機関等と連携した中核拠点としてのワンヘルスセンターを整備するということが明記されております．これまで県の機関である家畜保健衛生所で一部の家畜・家禽等の健康管理又はサーベイランス等を行ってまいりましたが，さらに広く連携した動物保健衛生所を新設することも条例の中で定めております．これにより，愛玩動物，野生動物を含めた全ての動物の健康を福岡県が責任を持って，今後は業務として取り扱っていくことになりました．その集大成として，国に対しましては，感染症等が発生したときの司令塔となる日本版CDCの拠点設立を九州知事会から要請する方向となっております．こうした活動に対しましては，どうか全国の皆様方にもよろしくご理解，ご指導をお願いしたく存じます．

国際的な獣医学術交流につきましては，現在私はアジア獣医師会連合（FAVA）の副会長に就任して会務に励んでいるところであり，来年秋11月に福岡市での開催を予定している第21回FAVA大会の際にFAVA会長に就任することが内定しているところです．FAVA大会については，国内外からの参加者に対する移動の規制が不透明ではありますが，コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮しながら慎重に準備を進めてまいります．

また，一昨年には本会の長年の懸案事項でありました販売の用に供する犬・猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化及び愛玩動物看護師の国家資格化が実現いたしました．これも，ひとえに地方獣医師会並びに関係者の皆様方のご尽力の賜物でありますとともに，特に自由民主党獣医師問題議員連盟の麻生太郎会長，森英介幹事長をはじめ，国会議員の先生方に大変なご支援をいただきました．同時に日本獣医師連盟会長の北村直人先生はじめ，連盟を構成する全国の皆様方にも力強く推進をいただきました．あらためて心から感謝を申し上げます．

さらに，本年６月15日には，本会は環境大臣から国内唯一のマイクロチップ指定登録機関に指定されました．本会といたしましては，これらの新しい制度が真に国民のために役立つ制度となり，広く国民の支持の下にその一翼を我々が担って活動することにより，人と動物の共生社会の発展に貢献できるよう，尽力してまいる所存であります．

本日の総会では，令和２年度の決算及び事業報告，また，令和３年度の予算及び事業計画のほか，私を含めた新役員の選任等の重要な議案が審議されます．ご出席の皆様方には，忌憚のないご意見をいただき，今後の日本獣医師会の活動を一層活発で意義あるものとしていきたいと考えておりますので，何卒よろしくお願いいたします．

公益社団法人　日本獣医師会　役員等名簿

（任期：令和３年６月から令和５年６月まで）

役員区分	氏名	所属先名等
会長	藏内勇夫（くらうち いさお）	福岡県議会議員
副会長	砂原和文（すなはら かずふみ）	秋田県獣医師会会長
	村中志朗（むらなか しろう）	東京都獣医師会会長
	境政人（さかい まさと） （専務理事を兼務）	（常勤）
専務理事	境政人（さかい まさと） （副会長を兼務）	（常勤）
北海道地区理事	髙橋徹（たかはし とおる）	北海道獣医師会会長
東北地区理事	浦山良雄（うらやま よしお）	福島県獣医師会会長
関東地区理事	鳥海弘（とりうみ ひろし）	神奈川県獣医師会会長
東京地区理事	上野弘道（うえの ひろみち）	東京都獣医師会業務執行理事
中部地区理事	石黒利治（いしぐろ としはる）	岐阜県獣医師会会長
近畿地区理事	吉岡豊（よしおか ゆたか）	奈良県獣医師会会長
中国地区理事	田中尚秋（たなか なおあき）	山口県獣医師会会長
四国地区理事	佐野明彦（さの あきひこ）	高知県獣医師会会長
九州地区理事	草場治雄（くさば はるお）	福岡県獣医師会会長
学術・教育・研究職域理事 （獣医学術学会職域理事を兼務）	佐藤れえ子（さとう れえこ）	岩手大学名誉教授
産業動物臨床職域理事	西川治彦（にしかわ はるひこ）	北海道獣医師会前副会長
小動物臨床職域理事	大林清幸（おおばやし きよゆき）	北九州市獣医師会元副会長
家畜共済職域理事	横尾彰（よこお あきら）	株式会社 共済薬事専務取締役
家畜防疫・衛生職域理事	宮澤隆（みやざわ たかし）	長野県松本家畜保健衛生所所長
公衆衛生職域理事	加地祥文（かじ よしふみ）	日本食品衛生協会常務理事
動物福祉・愛護職域理事	佐伯潤（さえき じゅん）	大阪府獣医師会会長
特任理事	栗本まさ子（くりもと まさこ）	日本乳業技術協会代表理事
監事	宇佐美晃（うさみ あきら）	茨城県獣医師会会長
	小山田富弥（おやまだ とみや）	青森県獣医師会会長
	柴山隆史（しばやま たかし）	滋賀県獣医師会顧問

役員区分	氏名	所属先名等
顧問	北村直人（きたむら なおと）	衆議院前議員
	酒井健夫（さかい たけお）	日本大学名誉教授

注：上記名簿の監事及び顧問区分欄における氏名の掲載順序は，五十音順で記載．